

第 24 回海部会WGの話し合いのポイント

■第 24 回海部会WGの目的

- 海底ゴミや生き物調査について
 - 海底のゴミの種類や集積状況を確認する。
 - 海底の生き物の種類、分布、月毎の変化、水質との関係などを確認する。
- 今年度のWGのとりまとめについて
 - 地域部会で提示する資料のフォーマットを確認する。
 - 今年度のWGを通じて得られた活動成果と残された課題について、4 つのテーマごとに確認・共有する。
- 来年度の活動について
 - 来年度に実施する海部会の具体的な活動内容の方向性を議論する。

■話し合い事項①：海底ゴミや生き物調査について

説明・報告 30 分、質疑 15 分

話し合いのポイント

- 海底のゴミや生き物からみて、豊かな海とはどのようなものか。
- 矢作川流域圏での取り組みにどのように活かせるか、連携ができるか。 など

■話し合い事項②：三河湾干潟造成に向けた検討について

意見交換 20 分

話し合いのポイント

- 11 月の WG 以降、流域圏懇談会による矢作ダム土砂を用いた干潟土壌改善試験について、土砂の運搬量、土砂の搬入方法等について状況の変化や進捗があるか。また、今年度内の今後の予定、スケジュールや今後の進め方についてどのようにするのか。

今年度のWGのとりまとめについて

意見交換 20 分

話し合いのポイント

- 活動成果のとりまとめのフォーマットはどのようなスタイルがよいか。
- 当初の 3 ヶ年目標に照らして、2 ヶ年目にあたる今年度、どこまで何ができたか。また、今後の推進に向けて、どのような課題や懸案事項があるか。
- 山・川部会メンバーに報告することを想定し、特にアピールしたいことは何か。など

■話し合い事項③：来年度の活動について

意見交換 20分

話し合いのポイント

- 来年度および来年度以降、海部会として実施したい活動をたくさん挙げる。
- その中で、特に力を入れたい活動は何か。
- 流域連携の視点から、山・川部会とどのような連携ができるか。 など